

# 計画の構成(案)

資料3

目次	記載内容	図表	備考
第1章 宗像市の概況			旧計画にはなし。宗像市の環境を考える上で、参考とすべき基本的項目を掲載する。
1. 位置及び面積	・沿革 ・位置、面積	●図 宗像市の位置	コミュニティの図を挿入
2. 気象	・気候区分 ・気温、降水量	●図 気候区分図 ●図 月別平均気温、降水量(平年値)	
3. 人口	・人口の経年推移 ・高齢者人口の推移	●図 人口・世帯数と平均世帯人員の推移 ●図 年齢(5歳階級)別・男女別人口構成	
4. 産業	・産業構造	●図 産業大分類別15歳以上就業者数の割合	
5. 土地利用	・土地利用の推移	●図 土地利用の状況 ●図 土地利用の推移	
第2章 第1次宗像市環境基本計画の実績と評価			旧計画の評価を示す。前回の審議会では「現行計画の総括」として表記されていた。
1. 施策の実施状況	・施策の進捗状況(環境関連施策及び事業等調査の結果より) ・主要環境プログラムの実施状況(主要環境プログラムの進捗より)	●表 施策の進捗状況 ●表 主要環境プログラムの進捗	宗像市が1回/2年の頻度で行っている年次報告書の結果よりとりまとめる。
2. 市民の評価	・旧計画に位置づけられる施策の重要度と実施状況に関する満足度(市民アンケート調査結果より)	●図 施策の重要度と満足度	
3. 総括	・数値目標の達成状況(アンケート調査結果及び庁内調べにより)	●表 数値目標の達成状況	
第3章 計画の概要			計画の枠組みについて記載。
1. 計画策定の背景	・近年の環境に関する社会情勢の動向(「生物多様性」、「地球温暖化」への対応の緊急性・必要性) ・宗像市のこれまでの環境への取り組み(計画策定の経緯)		近年、社会的な要請の高い「生物多様性」、「地球温暖化」への取り組みの重要性についても記載する。また、地域の特性についても言及する。(例:宗像市は市域がほぼ釣川流域に占められるため、生物多様性の保全には流域単位での取り組みが必要。)
2. 計画の位置付け	・「宗像市環境基本条例」第7条に規定される上位計画、部門別計画、個別計画との関連性 ・計画策定の視点(「宗像市環境基本条例」の基本理念)	●図 環境基本計画の位置づけ(相関図) ●図「宗像市環境基本条例」の基本理念	
3. 計画の対象範囲	・地域:宗像市全域 ・環境:自然環境、生活環境、快適環境、地球環境、環境保全体制	●図・表 対象とする環境	地域は広域連携の必要な項目があれば、検討する必要がある。
4. 計画の期間	・平成30年度を初年度とし、平成39年度を目標年次とする10年間 ・中間年度の平成34年度に中間見直しを行う ・社会状況の変化や大きな環境変化等が起こった際には必要に応じて見直しを行う	●図 計画の期間	
5. 計画の構成	・計画の章立てと掲載事項	●図・表 計画の構成	
第4章 目指す環境像			
1. 目指す環境像	・「〇〇〇 〇〇〇」(参考:自然と歴史のふるさと住みたいまち 宗像) ・環境像設定のねらい ・宗像市総合計画との関係性【第2次総合計画】 目指す将来像ーときを紡ぎ 躍動するまち まちづくりの柱ー調和のとれたまちづくり		キャッチフレーズは審議会で決定する 旧計画の施策のさらなる推進のため、旧計画の目指す環境像を引き継ぐことを方針とする。
2. 施策体系	・施策の体系	●図 施策の体系	

目次	記載内容	図表	備考
<p>第5章 達成に向けた取り組み</p> <p>1. 自然環境</p> <p>(1)○○○○</p> <p>(2)○○○○</p> <p>(3)○○○○</p> <p>2. 生活環境</p> <p>(1)大気汚染、悪臭</p> <p>(2)騒音、振動</p> <p>(3)水質汚濁</p> <p>(4)ごみ</p> <p>(5)ペット(犬猫)</p> <p>3. 快適環境</p> <p>(1)○○○○</p> <p>(2)○○○○</p> <p>(3)○○○○</p> <p>4. 歴史文化的まちなみ</p> <p>(1)○○○○</p> <p>(2)○○○○</p> <p>(3)○○○○</p> <p>5. 低炭素社会</p> <p>(1)省エネの推進と地球温暖化の防止</p> <p>(2)低炭素型社会づくりの推進</p> <p>(3)地球温暖化への適応</p> <p>6. 教育・協働</p> <p>(1)○○○○</p> <p>(2)○○○○</p>	<p>・目指す環境像実現のための目標 (環境要素毎に記載する)</p> <p>・施策の方向性 (環境要素毎に記載する)</p> <p>・現況と課題 (○)の小項目単位で記載する)</p> <p>基礎調査結果より整理した環境の現況と課題に焦点を絞った文章と図表を交えて記載する。</p> <p>・目標達成のための個別施策 (○)の小項目単位で記載する)</p> <p>施策の概要(必要によって担当課、実施時期等“宗像市の環境(施策の進捗報告)”と結びつく内容のもの)を記載する。</p> <p>・数値目標 (○)の小項目単位で記載する)</p> <p>施策の進捗、効果を判断するための数値目標を設定する。</p>		<p>世界文化遺産の候補地となることから、重点的な取り組みを展開する必要がある。そのためこれまでの「快適環境」より切り出して表記する。</p> <p>地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の内容を入れ込む。</p>
<p>第6章 計画の推進体制及び進行管理</p> <p>1. 計画の推進体制</p> <p>(1)協働推進組織</p> <p>(2)庁内推進組織</p> <p>(3)環境保全審議会</p> <p>(4)広域連携による推進</p> <p>2. 計画の進行管理</p>	<p>・組織の構成、役割、位置づけ</p> <p>・組織の構成、役割、位置づけ</p> <p>・組織の構成、役割、位置づけ</p> <p>・広域連携の必要な取り組み(ごみ処理、災害時対応、世界遺産)については、調整・連携を図る。</p> <p>・PDCAサイクルにのった運用</p> <p>・計画段階における進捗確認の方法</p> <p>・環境関連施策及び事業等調査の位置づけ</p>	<p>●図 計画の推進体制</p>	<p>現在、計画推進時には機能していない組織もあり、どのような体制が構築可能かはこれから検討する必要有り。</p> <p>旧計画の「第三者評価組織」の項目名称を変更。</p>